

単年度用

R3決算用

事業番号	60 - 15 - 5 - 1	成果説明書・掲載事業																			
事業シート（概要説明書）																					
科目	款 10 教育費	項 4 社会教育費	目 1 社会教育総務費																		
事業名	社会教育委員関係費		担当課 生涯学習課																		
総合戦略施策名	基本目標		担当係 社会教育係																		
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 伊藤 伸久																		
事務区分	自治事務	法定受託事務	事業開始年度 昭和46年度																		
根拠法令等	社会教育法第15・17・18条、富津市社会教育委員に関する条例																				
実施の背景	社会教育法に基づき、社会教育行政に地域住民の意向を反映させ、行政と市民との密接な連携・協働の下に社会教育事業を進めるために、社会教育委員を設置した。委員は必要な研究調査を行い、社会教育に関する諸計画を立案し、会議を開いて教育委員会の諮問に応じる等の職務を通して、社会教育に関し教育委員会に助言する。																				
目的	市民と連携・協働して社会教育事業を進めるため社会教育委員を委嘱し、研究調査、社会教育に関する諸計画の立案、教育委員会の諮問への答申等の職務を通し助言を受けるとともに、関連諸団体等の仲介役として活動してもらうことで、社会教育・生涯学習を進展させる。																				
事業概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 41,248 人 (100.0 %)																		
	実施方法	直接実施	業務委託	一部委託	指定管理																
		委託先・指定管理者																			
		直接補助	間接補助	補助先	実施主体																
		貸付	貸付先																		
その他	その他の内容																				
事業内容（金額を含めた予算の執行内容）																					
学校教育関係者、社会教育関係者、学識経験者、家庭教育の向上に資する活動を行う方々に委嘱（13人）。																					
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>金額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>社会教育委員報酬(報酬)</td> <td>394,400円</td> <td>富津市社会教育委員会議・千葉県社会教育振興大会ほか各種会議等参加への委員報酬 日額6,800円×延べ58人=394,400円</td> </tr> <tr> <td>費用弁償(旅費)</td> <td>19,200円</td> <td>上記会議への参加旅費</td> </tr> <tr> <td>君津地方社会教育委員連絡協議会負担金(負担金補助及び交付金)</td> <td>10,000円</td> <td>君津地方4市の社会教育委員及び事務局で構成する協議会。君津地方社会教育振興大会や研修会を実施</td> </tr> <tr> <td>諸会議負担金(負担金補助及び交付金)</td> <td>2,000円</td> <td>千葉県社会教育振興大会参加費用 記念行事・講演、分科会に委員及び事務局が参加 2,000円×1人=2,000円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>425,600円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				内訳	金額	備考	社会教育委員報酬(報酬)	394,400円	富津市社会教育委員会議・千葉県社会教育振興大会ほか各種会議等参加への委員報酬 日額6,800円×延べ58人=394,400円	費用弁償(旅費)	19,200円	上記会議への参加旅費	君津地方社会教育委員連絡協議会負担金(負担金補助及び交付金)	10,000円	君津地方4市の社会教育委員及び事務局で構成する協議会。君津地方社会教育振興大会や研修会を実施	諸会議負担金(負担金補助及び交付金)	2,000円	千葉県社会教育振興大会参加費用 記念行事・講演、分科会に委員及び事務局が参加 2,000円×1人=2,000円	合計	425,600円	
内訳	金額	備考																			
社会教育委員報酬(報酬)	394,400円	富津市社会教育委員会議・千葉県社会教育振興大会ほか各種会議等参加への委員報酬 日額6,800円×延べ58人=394,400円																			
費用弁償(旅費)	19,200円	上記会議への参加旅費																			
君津地方社会教育委員連絡協議会負担金(負担金補助及び交付金)	10,000円	君津地方4市の社会教育委員及び事務局で構成する協議会。君津地方社会教育振興大会や研修会を実施																			
諸会議負担金(負担金補助及び交付金)	2,000円	千葉県社会教育振興大会参加費用 記念行事・講演、分科会に委員及び事務局が参加 2,000円×1人=2,000円																			
合計	425,600円																				
関連事業																					

単年度用

R3決算用

事業番号	60 - 15 - 5 - 1			成果説明書・掲載事業								
事業シート（概要説明書）												
科目	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	1	社会教育総務費			
事業名	社会教育委員関係費					担当課	生涯学習課					
[単位：千円]	令和4年度（予算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）		令和元年度（決算）					
コスト	合計		701		426		21		337			
	（人件費を除く） 内 訳	報酬	612		報酬	395		報酬	20			
		旅費	61		旅費	19		負担金補助及び交付金				
		負担金補助及び交付金	28		負担金補助及び交付金	12		旅費	1			
								負担金補助及び交付金	23			
	人件費	合計		0.38 人		2,929		0.38 人		2,830		
		正職員	0.38 人		2,929		0.38 人		2,830		0.38 人	
		臨時職員等	人		0		人		0		人	
	総事業費		3,630		3,355		2,851		3,431			
	財源	合計		701		426		21		337		
国県支出金												
国県支出金の内容												
地方債												
その他特財												
その他特財の内容												
一般財源		701		426		21		337				
事業実績	活動指標名（実績値/目標値）				単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度				
	富津市社会教育委員会議				回	2/2	0/2	1/2				
	君津地方・県社会教育委員連協会議等				回	3	3	7				
	単位当たりコスト				総事業費 / 社会教育委員数	258,077	219,308	263,923				
事業成果	<p>社会教育委員に求められる職務及び、社会的な要請であるコーディネーターとしての役割等を果たすためには、自主的な臨時会議や研修が必要である。その上で、提言等の作成等（諸計画の立案、諮問への答申、建議）が大きな目標となる。</p>											
	成果指標名（実績値/目標値）				単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度				
	自主的な会議・研修の回数				回	5/1	0/1	0/1				
	提言等の件数				件	1/1	0/1	0/1				
<p>事業の自己評価</p> <p>社会教育委員としての目標的職務である「社会教育に関する諸計画を立案する。」及び「教育委員会の諮問に応じ、これに対して意見を述べること。」等の活動を可能にするため、自主研修や視察を実施し、生涯学習の推進や図書事業についての研究・調査を行った。まず現有施設の十分な活用をという見解は、事務局が蔵書整理をはじめとする図書施設の整備に着手する契機となった。</p>												
<p>比較参考値</p> <p>標準的な会議等の回数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・袖ヶ浦市 15人 年6回 その他研修1回 ・木更津市 18人 年4回 その他答申案検討会開催 ・君津市 15人 年3回 その他研修5回 ・富津市 13人 年2回 その他臨時会議1・2回 												
<p>その他特記すべき事項</p> <p>富津市社会教育委員会議としては初めての計画の立案となる「富津市子どもの読書活動推進計画（案）」の作成が平成30年度に実現し、平成31年3月の定例教育委員会で策定された。</p>												

単年度用

R3決算用

事業番号	60 - 15 - 10 - 1	成果説明書・掲載事業																			
事業シート（概要説明書）																					
科目	款 10 教育費	項 4 社会教育費	目 1 社会教育総務費																		
事業名	社会教育総務関係費		担当課 生涯学習課																		
総合戦略施策名	基本目標		担当係 社会教育係																		
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 伊藤 伸久																		
事務区分	自治事務	法定受託事務	事業開始年度 昭和46年度																		
根拠法令等																					
実施の背景	社会教育は、学校教育及び家庭教育以外の教育全般とされる一方で、それらすべての領域にわたる生涯学習を推進する役割を担っている。社会教育総務として、課の庶務を行うほか、社会教育関係団体への補助や、広域市町村圏で実施してきた事業等の推進が必要である。																				
目的	必要な庶務事項を行うことによって、社会教育の振興を図る。社会教育関係団体（富津市PTA連絡協議会、富津市連合婦人会、及び地域教育活動団体）への補助金を交付することにより、活動の維持・発展を図る。県が実施する社会人権教育事業を活用することにより、市民が人権に関心を持てるようにする。視聴覚教育用機器・教材をそろえ、視聴覚教育の振興を図る。																				
事業概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 41,248 人 (100.0 %)																		
	実施方法	直接実施	<input type="radio"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/>																		
		委託先・指定管理者																			
		直接補助	間接補助	補助先 富津市PTA連絡協議会 富津市連合婦人会																	
		貸付	貸付先	実施主体 富津市PTA連絡協議会 富津市連合婦人会																	
その他	その他の内容																				
事業内容（金額を含めた予算の執行内容）																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>金額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>視聴覚教材(備品購入費)</td> <td>165,000円</td> <td>著作権承認済視聴覚教材(DVD)</td> </tr> <tr> <td>負担金補助及び交付金</td> <td>122,035円</td> <td>市PTA連絡協議会(67,035円)、市連合婦人会補助金(県負担金分 25,000円)、地域教育活動補助金(30,000円)</td> </tr> <tr> <td>消耗品費(需用費)</td> <td>10,080円</td> <td>社会教育関係書籍</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>1,720円</td> <td>県社会教育担当者研修会</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>298,835円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				内訳	金額	備考	視聴覚教材(備品購入費)	165,000円	著作権承認済視聴覚教材(DVD)	負担金補助及び交付金	122,035円	市PTA連絡協議会(67,035円)、市連合婦人会補助金(県負担金分 25,000円)、地域教育活動補助金(30,000円)	消耗品費(需用費)	10,080円	社会教育関係書籍	旅費	1,720円	県社会教育担当者研修会	合計	298,835円	
内訳	金額	備考																			
視聴覚教材(備品購入費)	165,000円	著作権承認済視聴覚教材(DVD)																			
負担金補助及び交付金	122,035円	市PTA連絡協議会(67,035円)、市連合婦人会補助金(県負担金分 25,000円)、地域教育活動補助金(30,000円)																			
消耗品費(需用費)	10,080円	社会教育関係書籍																			
旅費	1,720円	県社会教育担当者研修会																			
合計	298,835円																				
<p>●社会人権教育事業への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会人権教育地区別研修会（県事業）の富津市での開催 南房総教育事務所管内（市原・君津地区・安房地区）を対象とした研修会を富津公民館開催にすることにより、市民が参加しやすい環境を整えるものの、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため動画配信のみとなった。 																					
関連事業																					

単年度用

R3決算用

事業番号	60 - 15 - 10 - 1		成果説明書・掲載事業							
事業シート（概要説明書）										
科目	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	1	社会教育総務費	
事業名	社会教育総務関係費					担当課	生涯学習課			
[単位：千円]	令和4年度（予算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）		令和元年度（決算）			
コスト	合計		526		299		300		2,836	
	（人件費を除く） 内 訳	備品購入費	165	備品購入費	165	備品購入費	161	報酬	1,502	
		負担金補助及び交付金	333	負担金補助及び交付金	122	負担金補助及び交付金	124	備品購入費	1,057	
		需用費	16	需用費	10	需用費	15	負担金補助及び交付金	188	
		旅費	12	旅費	2			旅費	74	
								需用費	15	
	人件費	合計		1.22 人		4,346		1.12 人		4,988
		正職員	0.48 人	3,700	0.38 人	2,929	0.38 人	2,830	0.38 人	3,094
		臨時職員等	0.74 人	1,417	0.74 人	1,417	0.74 人	1,605	0.74 人	1,894
	総事業費		5,643		4,645		4,735		7,824	
財源	合計		526		299		300		2,836	
	国県支出金									
		国県支出金の内容								
	地方債									
	その他特財									
	その他特財の内容									
一般財源	526		299		300		2,836			
事業実績	活動指標名（実績値/目標値）				単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度		
	社会教育総務関係会議参加回数				回	1	1	5		
	単位当たりコスト				総事業費	/				
事業成果	成果目標 社会人権教育研修会に参加する市民を増加させることによって、また内容を広報することによって、人権意識の涵養を進める。									
	成果指標名（実績値/目標値）				単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度		
	社会人権地区別研修会参加人数（富津市）				人	0/50	0/50	47/50		
事業の自己評価 生涯学習課が対象とする範囲は極めて多岐にわたり、課の庶務も兼ねる事務を処理するために、事務補助員は必須である。学校数は減少しているが、市PTA連絡協議会の運営にかかる各校（保護者）の負担を増加させないため、補助額を維持する。市連合婦人会の県負担金相当分を補助する。視聴覚教材の補充に努める。社会人権教育研修会参加者を増加させる。										
比較参考値										
その他特記すべき事項										

単年度用

R3決算用

事業番号	60 - 15 - 30 - 1	成果説明書・掲載事業											
事業シート（概要説明書）													
科目	款 10 教育費	項 4 社会教育費	目 1 社会教育総務費										
事業名	生涯学習推進事業		担当課 生涯学習課										
総合戦略施策名	基本目標		担当係 社会教育係										
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 伊藤 伸久										
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="radio"/>	事業開始年度 平成11年度										
根拠法令等	社会教育法第5条第1号、第13号、第15号、第16号												
実施の背景	生涯学習社会の実現を目指し、市では「学びから生きがいを 生きがいをまちづくりへ」をキャッチフレーズに、平成11年度に生涯学習推進計画を策定した。 昭和48年度に非常勤特別職として設置した社会教育指導員は、令和2年度から会計年度任用職員となった。												
目的	全市民が生涯を通じていつでもどこでも楽しく学ぶことができ、その成果が活かされる生涯学習社会の実現を目指す。												
事業概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 41,248 人 (100.0 %)										
	実施方法	直接実施	業務委託	一部委託									
		委託先・指定管理者											
		直接補助	間接補助	補助先									
		貸付	貸付先	実施主体									
		その他	その他の内容										
	事業内容（金額を含めた予算の執行内容）												
	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>金額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>印刷製本費(需用費)</td> <td>66,880円</td> <td>生涯学習情報提供誌印刷製本</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>66,880円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				内訳	金額	備考	印刷製本費(需用費)	66,880円	生涯学習情報提供誌印刷製本	合計	66,880円	
	内訳	金額	備考										
	印刷製本費(需用費)	66,880円	生涯学習情報提供誌印刷製本										
合計	66,880円												
<p>●社会教育指導員の配置 中央公民館、富津公民館及び市民会館に社会教育指導員を各1名配置。 主催事業の企画・運営の補助、社会教育に関する指導・助言、相談業務及び社会教育団体の育成にあたるほか、子ども会育成連絡協議会、青少年相談員連絡協議会の主催事業への参加、社会教育委員会、公民館運営審議会会議に関して指導・助言を行った。 そのほか、平成28年度から、主に塾に通っていない中学3年生を対象とした学習サポート会（富津市版地域未来塾）を実施している（11月～2月、週1回、放課後2時間）。また、放課後ルーム（放課後子供教室）の支援にも協力している。</p>													
<p>●生涯学習情報提供誌の発行（需用費） 市民の多様な学習を支援するため、生涯学習に関する機会や行事を掲載した『富津市生涯学習情報提供誌』を作成し、市役所・公民館等の窓口で希望者に配布している。原稿作成及び配布については直接実施し、印刷のみ委託している。 市ホームページに掲載する他、ちばりすネット（千葉県生涯学習情報提供システム）に情報提供することで、市民が情報を入手する機会を創出する。</p>													
<p>●富津市人材バンク「まちの先生」 生涯学習に関するボランティアの意思がある方を登録する制度を設けることによって、市民の生涯学習活動についてサポートを行う。情報は生涯学習情報提供誌とホームページに掲載している。</p>													
関連事業													

単年度用

R3決算用

事業番号	60 - 15 - 30 - 1		成果説明書・掲載事業										
事業シート（概要説明書）													
科目	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	1	社会教育総務費				
事業名	生涯学習推進事業					担当課	生涯学習課						
[単位：千円]	令和4年度（予算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）		令和元年度（決算）						
コスト	合計	99		67		77		3,176					
	内訳 (人件費を除く)	需用費	88		67		需用費	74		報酬	2,938		
		旅費	11				旅費	3		旅費	167		
										需用費	71		
	人件費	合計	1.60 人	4,628		1.60 人	4,628		1.60 人	4,896		0.10 人	814
		正職員	0.27 人	2,081		0.27 人	2,081		0.27 人	2,011		0.10 人	814
		臨時職員等	1.33 人	2,547		1.33 人	2,547		1.33 人	2,885		人	0
総事業費	4,727		4,695		4,973		3,990						
財源	合計	99		67		77		3,176					
	国県支出金												
		国県支出金の内容											
	地方債												
	その他特財												
	その他特財の内容												
一般財源	99		67		77		3,176						
事業実績	活動指標名（実績値/目標値）				単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度					
	生涯学習情報提供誌発行部数				部	800	800	800					
	単位当たりコスト				総事業費	/							
事業成果	成果目標	生涯学習情報提供誌の掲載内容である人材バンク「まちの先生」、講座・教室、サークル、スポーツ・レクリエーション、イベント、出前講座の利用者数・参加者数を増加させる。このうち、人材バンク「まちの先生」の利用実績の増加を主な目標とする。											
	成果指標名（実績値/目標値）				単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度					
	人材バンク「まちの先生」登録者数 (特定の学校・部活動の指導者は除く。)				組・人	33/60	34/60	35/60					
	人材バンク「まちの先生」の利用件数				件	28/70	31/70	80/70					
人材バンク「まちの先生」の利用延べ人数				人	5,159/9,000	5,783/9,000	7,774/9,000						
事業の自己評価	平成13年度に創設した「まちの先生」は、生涯学習人材バンクとしては周辺地域のさきがけとなっているが、日常的に活動している登録者がいる反面、活動歴のない登録者も多い。学びをまちづくりに生かす媒体として、多様な人材の発掘を続けるとともに、地域学校協働活動での活用等、活躍の場を積極的にコーディネートする必要がある。												
比較参考値													
その他特記すべき事項	平成12年度から開催されてきた生涯学習推進大会は、平成26年度をもって休止となった。君津地方4市での推進大会への積極的な参加を促す一方、大会開催に代わる学習意識の啓発の方法等については、引き続き社会教育委員会議等で検討していく。 社会教育指導員設置事業の廃止に伴い、令和2年度から統合。												

単年度用

R3決算用

事業番号	60 - 15 - 40 - 1	成果説明書・掲載事業											
事業シート（概要説明書）													
科目	款 10 教育費	項 4 社会教育費	目 1 社会教育総務費										
事業名	家庭教育支援事業		担当課 生涯学習課										
総合戦略施策名	基本目標		担当係 社会教育係										
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 伊藤 伸久										
事務区分	自治事務	法定受託事務	事業開始年度 昭和60年度										
根拠法令等	社会教育法第5条第7号												
実施の背景	核家族化等の急激な社会環境の変化による家庭の教育力の低下に対応し、親等への支援をするため、市では小学校で実施する家庭教育学級等の講師料等を補助してきたが、H28年度をもって廃止となった。昭和60年度に非常勤特別職として設置した家庭教育指導員は、令和2年度から会計年度任用職員となった。												
目的	親に対する主体的な学習機会・地域の情報提供、子育てや家庭教育に関する相談対応、親の日常的な交流の場となる居場所づくりなどの支援を提供することを目的とする。												
事業概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 41,248 人 (100.0 %)										
	実施方法	直接実施	業務委託	一部委託									
		委託先・指定管理者											
		直接補助	間接補助	補助先									
		貸付	貸付先	実施主体									
		その他	その他の内容										
	事業内容（金額を含めた予算の執行内容）												
	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>金額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消耗品費(需用費)</td> <td>7,486円</td> <td>放課後ルームの消耗品</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>7,486円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				内訳	金額	備考	消耗品費(需用費)	7,486円	放課後ルームの消耗品	合計	7,486円	
	内訳	金額	備考										
	消耗品費(需用費)	7,486円	放課後ルームの消耗品										
合計	7,486円												
<p>●家庭教育指導員の配置 平成28年度まで、社会教育指導員同様、家庭教育指導員も公民館・市民会館に配属していたが、平成29年度からの「子育ての話 何でも聴きます窓口」への週1回（火曜日）の配置に伴い本庁勤務となり、生涯学習課で家庭教育関係事業の見直しを含めた業務をすることとなった。 平成30年度は、中央公民館での「放課後ルーム」（富津市版「放課後子供教室」）の企画運営に携わるかわら、全小中学校における調査を行った。 家庭教育指導員の放課後ルームでの活動部分を「家庭教育支援チーム」の家庭教育支援員としての活動ととらえ、令和元年度から、県の補助金を得て支援員を増員し、富津・大佐和・天羽3地区での事業展開につなげた。</p> <p>富津市版「家庭教育支援チーム」の特色 コーディネーターとしての家庭教育支援員（家庭教育指導員）の配置 ○「相談窓口」や「親子つどいの場」などに関与することで、市長部局と教育委員会、その他子育て関係機関を繋ぐ ○放課後子供教室を運営することで、子どもの安全で安心な放課後の居場所、家庭教育支援の場を提供しながら、学校と地域を繋ぐとともに、支援者（サポーター）と家庭（保護者）が接する機会を創出する。</p>													
関連事業													

単年度用

R3決算用

事業番号	60 - 15 - 40 - 1		成果説明書・掲載事業							
事業シート（概要説明書）										
科目	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	1	社会教育総務費	
事業名	家庭教育支援事業					担当課	生涯学習課			
[単位：千円]	令和4年度（予算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）		令和元年度（決算）			
コスト	合計	19		7		15		2,115		
	内訳 (人件費を除く)	旅費	11		需用費	7		需用費	8 報酬 1,632	
		需用費	8				旅費	7 旅費 483		
	人件費	合計	1.26 人	4,847	0.96 人	3,113	0.96 人	3,244	0.22 人	1,791
		正職員	0.42 人	3,238	0.22 人	1,696	0.22 人	1,639	0.22 人	1,791
		臨時職員等	0.84 人	1,609	0.74 人	1,417	0.74 人	1,605	人	0
総事業費	4,866		3,120		3,259		3,906			
財源	合計	19		7		15		2,115		
	国県支出金							652		
		国県支出金の内容		家庭教育支援チーム設置推進事業補助金 [県2/3] (人件費充当)						
	地方債									
	その他特財	その他特財の内容								
一般財源	19		7		15		1,463			
事業実績	活動指標名（実績値/目標値）				単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度		
	家庭教育指導員（支援員）勤務日数				日	240	240	240		
	単位当たりコスト				総事業費 / 勤務日数	円	13,000	13,579	16,275	
事業成果	成果目標				放課後ルームを平成30年度に開設し、令和元年度は家庭教育支援員を2名増員し3か所で開設した。学校・地域と連携して、持続可能な運営を図る。					
	成果指標名（実績値/目標値）				単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度		
	放課後ルーム開設数				団体講座	3/3	3/3	3/3		
	放課後ルーム登録者数				人	75	42	40		
事業の自己評価				相談窓口業務に携わる家庭教育指導員を家庭教育支援員の中心に位置づけ、公民館・学校を拠点とする放課後ルーム（宿題程度の学習、遊び・体験活動等）に参画するとともに、保護者と接する機会を設けた。今後は、地域のサポーターを育成し、持続可能な運営につなげたい。						
比較参考値				家庭教育指導員配置状況 木更津市 配置なし、君津市 1名、袖ヶ浦市 配置なし、鴨川市 2名、鋸南町 配置なし						
その他特記すべき事項				家庭教育指導員設置事業の廃止に伴い、令和2年度から統合。						

単年度用

R3決算用

事業番号	60 - 15 - 45 - 1	成果説明書・掲載事業										
事業シート（概要説明書）												
科目	款 10 教育費	項 4 社会教育費	目 1 社会教育総務費									
事業名	ブックスタート事業		担当課 生涯学習課									
総合戦略施策名	基本目標	__ 1 子どもの笑顔があふれるまちへ										
	基本的な施策の方向	① 安心して出産、子育てできる環境を整える	担当係 社会教育係 作成責任者 伊藤 伸久									
事務区分	自治事務	法定受託事務	事業開始年度 平成29年度									
根拠法令等	千葉県子どもの読書活動推進計画（第四次）、富津市子どもの読書活動推進計画											
実施の背景	社会情勢や家庭環境の変化により子育て環境も変化し、親子のふれあいの時間が減少する中、赤ちゃんとの触れ合い方が分からないという親や養育能力に不安を持つ親が増加している。上記推進計画で、千葉県は県内全市町村での実施を目指していた。											
目的	「絵本」と「赤ちゃん絵本を楽しむ体験」をプレゼントする活動を通して、赤ちゃんと保護者が、絵本を介して、心ふれあう時間を持つきっかけを届ける。また、ボランティアの参加を募ることで、地域全体で子育てを支える意識を醸成し、他部局や市民と協働することによって、市を挙げて子育てを応援しているというメッセージを伝える。											
事業概要	対象	4か月児健診等受診の子どもと保護者 (想定数年間200組：子ども1人に対し保護者2名で計算)										
		対象者数(全住民に対する割合) 600 人 (1.5 %)										
	実施方法	直接実施	<input type="radio"/>	業務委託								
		委託先・指定管理者										
		直接補助		間接補助								
貸付			貸付先									
	その他		その他の内容									
事業内容（金額を含めた予算の執行内容）												
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>金額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消耗品費(需用費)</td> <td>151,470円</td> <td>配布用絵本・ブックレット、消耗品等の購入</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>151,470円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				内訳	金額	備考	消耗品費(需用費)	151,470円	配布用絵本・ブックレット、消耗品等の購入	合計	151,470円	
内訳	金額	備考										
消耗品費(需用費)	151,470円	配布用絵本・ブックレット、消耗品等の購入										
合計	151,470円											
<p>●4か月児健診終了後に絵本を贈呈するとともに、市民ボランティアから読み聞かせを通した子どもとのふれあい方や月齢・年齢にあった絵本選びのポイントなどを伝える。 平成29年9月実施回から絵本（1冊）の配布を開始。</p> <p>●ブックスタートボランティアの養成やスキルアップのための研修講座を開催し、絵本を通じて市民が子育て支援につながりやすい環境を醸成する。</p>												
関連事業												

単年度用

R3決算用

事業番号	60 - 15 - 45 - 1	成果説明書・掲載事業								
事業シート（概要説明書）										
科目	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	1	社会教育総務費	
事業名	ブックスタート事業					担当課	生涯学習課			
[単位：千円]	令和4年度（予算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）		令和元年度（決算）			
コスト	合計	181		151		153		134		
	内訳 (人件費を除く)	需用費	166		151		153		134	
		報償費	15						0	
		合計	0.14 人		0.16 人		0.16 人		0.13 人	
	人件費	正職員	0.09 人		0.11 人		0.11 人		0.11 人	
		臨時職員等	0.05 人		0.05 人		0.05 人		0.02 人	
総事業費		971		1,095		1,080		1,081		
財源	合計	181		151		153		134		
	国県支出金									
	国県支出金の内容									
	地方債									
	その他特財									
その他特財の内容										
一般財源	181		151		153		134			
事業実績	活動指標名（実績値/目標値）				単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度		
	配布冊数				冊	134	106	121		
	単位当たりコスト				総事業費 / 配布冊数	円	8,172	10,189	8,934	
事業成果	0歳児を対象とした事業によって、絵本の読み聞かせが習慣となったケースを量的に推測するため、3歳児健診時のアンケートにより、読み聞かせをしている人の割合を成果指標とする（令和2年度以降）。事業実施前の平成28年度は78%であった。（総合戦略で令和元年度目標値をプラス5%の83%とした。） R3年度3歳児健診対象者206人中アンケート回答者152人（回収率74%）のうち、「することがある」と答えた人は141人（93%）だった。									
	成果指標名（実績値/目標値）				単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度		
	読み聞かせをしている人の割合（3歳児）				%	93/85	94/84	-/83		
事業の自己評価		健康づくり課の健診の機会を提供してもらい、また、事業の趣旨としては子育て支援の範疇になるなど、部局を超えた事業展開の契機になる。さらに市民ボランティアに活動してもらうことによって、市を挙げて、みんなで見守っていますよ、というメッセージを伝えることができる。今後さらに、切れ目のない子育て支援をかたちにするため、3歳以上の未就学児を対象としたセカンドブック等の実施が必要である。								
比較参考値		近隣市の状況 絵本の配布あり 君津市・袖ヶ浦市・鴨川市・南房総市・館山市・木更津市（R1から）ほか 絵本の配布なし（紹介リスト配布、読み聞かせ等） 鋸南町ほか								
その他特記すべき事項										

単年度用

R3決算用

事業番号	60 - 15 - 50 - 1 80 - 10 - 1	成果説明書・掲載事業	<input type="radio"/>
------	---------------------------------	------------	-----------------------

事業シート（概要説明書）

科目	款 10 教育費	項 4 社会教育費	目 1 社会教育総務費
事業名	生涯学習バス運営事業 市制施行50周年記念事業		V 生涯学習課
総合戦略施策名	基本目標		担当係 社会教育係
	基本的な 施策の方向	施策番号	作成責任者 伊藤 伸久
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="radio"/>	事業開始年度 昭和56年度

根拠法令等	社会教育法第5条第1号 富津市生涯学習バス利用規則
-------	---------------------------

実施の背景	いつでも、どこでも、誰でも学べる生涯学習の機会充実促進のため、生涯学習関係団体に対し、補助を行う必要があることから設置された（当初は「公民館バス」）。平成28年度中の老朽車両（2台）処分・新規車両購入から1台体制になり、市民から複数台の設置の要望が少なからずあった。また、利用者が無理なく長時間の乗車ができる仕様のバスが望まれた。
-------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

目的	公民館主催講座での移動学習のほか、子ども会や青少年相談員、PTAなどの活動支援を目的とし、学習機会への参加を促し、学習活動の拡充を図る。
----	----------------------------------------------------------------------

対象	市民	対象者数(全住民に対する割合)		
		41,248 人 (100.0 %)		
実施方法	直接実施 <input type="checkbox"/>	業務委託 <input type="checkbox"/>	一部委託 <input type="radio"/>	指定管理 <input type="checkbox"/>
	委託先・指定管理者			
	直接補助 <input type="checkbox"/>	間接補助 <input type="checkbox"/>	補助先	実施主体
	貸付 <input type="checkbox"/>	貸付先		
	その他 <input type="checkbox"/>	その他の内容		

事業内容（金額を含めた予算の執行内容）

事業概要	内訳	金額	備考
	生涯学習バス購入費 (備品購入費)	21,769,000円	【50周年】中型バスの新規購入
	生涯学習バス管理運行業務委託 (委託料)	4,012,800円	生涯学習バスの運行及び管理を委託するための経費
	燃料費(需用費)	289,509円	生涯学習バスの運行に必要な軽油の経費262,594円 【50周年】26,915円
	備品購入費	142,560円	ETC車載プリンター購入の経費
	修繕料(需用費)	128,260円	バッテリーの経年劣化による交換費用
	自動車重量税(公課費)	86,100円	車検時41,000円、【50周年】(購入時)45,100円
	手数料(役務費)	77,050円	(車検時)1,600円 【50周年】登録代行費用等(購入時) ・課税分:27,790円 ・非課税分(リサイクル料含む):47,660円
	生涯学習バスラッピング作品応募 者記念品(報償費)	68,328円	【50周年】応募児童263人への記念品購入
	保険料(役務費)	26,270円	(車検時)自賠責保険料12,630円 【50周年】(購入時)自賠責保険料13,640円
	消耗品費(需要費)	7,744円	ETC車載プリンター用ペーパーロール紙購入の経費
	合計	26,607,621円	【50周年】(市制施行50周年記念事業) 合計 21,998,433円

関連事業	
------	--

単年度用

R3決算用

事業番号	60 - 15 - 50 - 1 80 - 10 - 1	成果説明書・掲載事業	○						
事業シート（概要説明書）									
科目	款 10 教育費	項 4 社会教育費	目 1 社会教育総務費						
事業名	生涯学習バス運営事業 市制施行50周年記念事業		V 生涯学習課						
[単位：千円]	令和4年度（予算）	令和3年度（決算）	令和2年度（決算）						
コスト	合計	7,542	26,608	4,637	4,294				
	（人件費を除く） 内 訳	委託料	6,362	備品購入費 21,912	委託料 4,013	委託料 3,639			
		需用費	1,063	委託料 4,013	需用費 541	需用費 597			
		公課費	87	需用費 426	公課費 41	公課費 41			
		役務費	30	役務費 103	備品購入費 28	役務費 17			
				その他 154	役務費 14				
	合計	0.27 人	2,081	0.35 人	2,698	0.35 人	2,607	0.35 人	2,850
	正職員	0.27 人	2,081	0.35 人	2,698	0.35 人	2,607	0.35 人	2,850
	臨時職員等	人	0	人	0	人	0	人	0
	総事業費		9,623	29,306	7,244	7,144			
財源	合計	7,542	26,608	4,637	4,294				
	国県支出金								
	国県支出金の内容								
	地方債								
	その他特財		19,500						
その他特財の内容	企業版ふるさと納税寄附金、生涯学習バス購入費寄附金								
一般財源	7,542	7,108	4,637	4,294					
事業実績	活動指標名（実績値/目標値）		単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度			
	生涯学習バス運行回数		回	97/200	57/200	174/200			
	生涯学習バス運行距離		km	8,165	5,667	22,549			
	単位当たりコスト		総事業費 / 運行回数	302,124	127,088	41,057			
事業成果	成果目標	生涯学習バスを運行することにより、より多くの人の学習活動に寄与することを目標とする。							
	成果	成果指標名（実績値/目標値）	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度			
		生涯学習バス利用延べ人数	人	2,188/6,000	1,167/6,000	4,664/6,000			
事業の自己評価	まん延防止重点措置期間中の利用は少なかったが、重点措置の終了後は少しずつ利用されるようになった。コロナウイルス感染症対策として、44人の乗車定員を引き続き約20人と半数程度に減らし、安全な運行に努めた。 また、市制施行50周年を記念して購入したバスにラッピングするため市内の小学生から図画を募集したところ263人の応募があり、10人の作品が選ばれた。								
比較参考値	県内では、本市のほかに9市5町1村で生涯学習バスと同様の事業を行っている。 君津市：2台 木更津市：1台（他に市長部局等のバスあり）								
その他特記すべき事項	事業の特性上（自家用自動車であるため、法令により利用料の徴収は不可）、無料で貸し出すこととなるため、民業圧迫とならないよう注意している。 また、同一の契約にて、移動図書館車の管理運行業務も委託している。								

単年度用

R3決算用

事業番号	60 - 25 - 5 - 1	成果説明書・掲載事業	○																																																																		
事業シート（概要説明書）																																																																					
科目	款 10 教育費	項 4 社会教育費	目 2 青少年健全育成費																																																																		
事業名	青少年相談員関係費		担当課 生涯学習課																																																																		
総合戦略施策名	基本目標		担当係 社会教育係																																																																		
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 伊藤 伸久																																																																		
事務区分	自治事務	法定受託事務	事業開始年度 昭和46年度																																																																		
根拠法令等	千葉県青少年相談員設置要綱、社会教育法第5条第14号																																																																				
実施の背景	青少年の健全育成を担う組織の必要性や地域ぐるみで青少年を健全に育てることの重要性が増す中、昭和38年10月に発足した。青少年相談員は、千葉県知事と富津市長から委嘱されている青少年健全育成を担うボランティア制度である。																																																																				
目的	ボランティアである青少年相談員の活動を補助することにより、青少年への多様な体験活動を提供し、青少年健全育成を図る。																																																																				
事業概要	対象	20歳未満の市民	対象者数(全住民に対する割合) 5,204 人 (12.6 %)																																																																		
	実施方法	直接実施	業務委託	一部委託	指定管理																																																																
		委託先・指定管理者																																																																			
		直接補助	○	間接補助	補助先	実施主体																																																															
		貸付		貸付先																																																																	
その他		その他の内容																																																																			
事業内容（金額を含めた予算の執行内容）																																																																					
<p>富津市青少年相談員連絡協議会では、市内全域の青少年を対象とする事業（君津地区事業を含む）を行い、富津・大佐和・天羽の各地区連絡協議会では地区内の青少年を対象とした事業を展開している。 第20期（令和元～3年度）富津市委嘱者数64人（富津地区21人、大佐和地区21人、天羽地区22人）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>金額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市青少年団体交付金（負担金補助及び交付金）</td> <td>411,594円</td> <td>市全体及び各地区での青少年健全育成活動を実施 富津市青少年相談員連絡協議会170,000円、富津地区163,308円、大佐和地区78,286円、天羽地区0円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費（需用費）</td> <td>60,231円</td> <td>感謝状贈呈・委嘱状交付に伴う用紙・記念品</td> </tr> <tr> <td>君津地区青少年相談員連絡協議会負担金（負担金補助及び交付金）</td> <td>22,000円</td> <td>君津地区青少年相談員連絡協議会への市負担金。会議年4回、研修会年1回、青少年事業年1回等</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費（需用費）</td> <td>13,970円</td> <td>退任者への市長感謝状の印刷（41枚）</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>507,795円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>青少年相談員連絡協議会事業（R3年度実績）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>参加者数</th> <th>相談員数</th> <th>事業名</th> <th>参加者数</th> <th>相談員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>合計</td> <td>75人</td> <td>46人</td> <td>大佐和地区連協計</td> <td>14人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>富津市連協計</td> <td>61人</td> <td>41人</td> <td>大佐和地区自然体験活動(佐貫小学校区のみ開催)</td> <td>14人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>君津地区つどい大会(中止)</td> <td></td> <td></td> <td>大佐和地区新春子どもかるた大会(中止)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>富津市あすをきずく青少年のつどい大会</td> <td>61人</td> <td>41人</td> <td>天羽地区連協計</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>なんでもヤリーナ20分(中止)</td> <td></td> <td></td> <td>金谷地区サマーキャンプ(中止)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>富津地区連協計</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>竹岡地区宿泊体験活動(中止)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>富津地区子ども大会(中止)</td> <td></td> <td></td> <td>天羽地区新年子ども大会(中止)</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				内訳	金額	備考	市青少年団体交付金（負担金補助及び交付金）	411,594円	市全体及び各地区での青少年健全育成活動を実施 富津市青少年相談員連絡協議会170,000円、富津地区163,308円、大佐和地区78,286円、天羽地区0円	消耗品費（需用費）	60,231円	感謝状贈呈・委嘱状交付に伴う用紙・記念品	君津地区青少年相談員連絡協議会負担金（負担金補助及び交付金）	22,000円	君津地区青少年相談員連絡協議会への市負担金。会議年4回、研修会年1回、青少年事業年1回等	印刷製本費（需用費）	13,970円	退任者への市長感謝状の印刷（41枚）	合計	507,795円		事業名	参加者数	相談員数	事業名	参加者数	相談員数	合計	75人	46人	大佐和地区連協計	14人	5人	富津市連協計	61人	41人	大佐和地区自然体験活動(佐貫小学校区のみ開催)	14人	5人	君津地区つどい大会(中止)			大佐和地区新春子どもかるた大会(中止)			富津市あすをきずく青少年のつどい大会	61人	41人	天羽地区連協計	0人	0人	なんでもヤリーナ20分(中止)			金谷地区サマーキャンプ(中止)			富津地区連協計	0人	0人	竹岡地区宿泊体験活動(中止)			富津地区子ども大会(中止)			天羽地区新年子ども大会(中止)		
内訳	金額	備考																																																																			
市青少年団体交付金（負担金補助及び交付金）	411,594円	市全体及び各地区での青少年健全育成活動を実施 富津市青少年相談員連絡協議会170,000円、富津地区163,308円、大佐和地区78,286円、天羽地区0円																																																																			
消耗品費（需用費）	60,231円	感謝状贈呈・委嘱状交付に伴う用紙・記念品																																																																			
君津地区青少年相談員連絡協議会負担金（負担金補助及び交付金）	22,000円	君津地区青少年相談員連絡協議会への市負担金。会議年4回、研修会年1回、青少年事業年1回等																																																																			
印刷製本費（需用費）	13,970円	退任者への市長感謝状の印刷（41枚）																																																																			
合計	507,795円																																																																				
事業名	参加者数	相談員数	事業名	参加者数	相談員数																																																																
合計	75人	46人	大佐和地区連協計	14人	5人																																																																
富津市連協計	61人	41人	大佐和地区自然体験活動(佐貫小学校区のみ開催)	14人	5人																																																																
君津地区つどい大会(中止)			大佐和地区新春子どもかるた大会(中止)																																																																		
富津市あすをきずく青少年のつどい大会	61人	41人	天羽地区連協計	0人	0人																																																																
なんでもヤリーナ20分(中止)			金谷地区サマーキャンプ(中止)																																																																		
富津地区連協計	0人	0人	竹岡地区宿泊体験活動(中止)																																																																		
富津地区子ども大会(中止)			天羽地区新年子ども大会(中止)																																																																		
関連事業																																																																					

単年度用

R3決算用

事業番号	60 - 25 - 5 - 1			成果説明書・掲載事業	○					
事業シート（概要説明書）										
科目	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	2	青少年健全育成費	
事業名	青少年相談員関係費				担当課	生涯学習課				
[単位：千円]	令和4年度（予算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）		令和元年度（決算）			
コスト	合計	872		508		286		869		
	内 訳	負担金補助及び交付金	851	負担金補助及び交付金	434	負担金補助及び交付金	286	負担金補助及び交付金	852	
		需用費	16	需用費	74			需用費	17	
		報償費	5							
	人件費	合計	0.19 人	1,465	0.29 人	2,236	0.29 人	2,160	0.29 人	2,361
		正職員	0.19 人	1,465	0.29 人	2,236	0.29 人	2,160	0.29 人	2,361
		臨時職員等	人	0	人	0	人	0	人	0
	総事業費	2,337		2,744		2,446		3,230		
	財 源	合計	872		508		286		869	
国県支出金		305		320		265		320		
		国県支出金の内容		青少年相談員活動費補助金						
地方債										
その他特財										
	その他特財の内容									
一般財源	567		188		21		549			
事業実績	活動指標名（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度			
	青少年相談員研修会実施数			回	0/2	0/2	2/2			
	青少年相談員主催事業実施数			回	2/10	1/10	8/10			
	単位当たりコスト			総事業費 / 青少年相談員数	円	42,875	38,219	50,469		
事業成果	成果目標	スポーツ・レクリエーション・ボランティア等の多様な経験を提供する事業に、1人でも多くの青少年が参加することことを目標とする。								
	成 果	成果指標名（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度		
		青少年相談員主催事業参加者数（相談員除く）			人	75/1,000	1,175/1,000	668/1,000		
事業の自己評価	新型コロナウイルス感染症の影響で令和3年度は2年度に引き続き、行事の開催はほとんど中止しなければならなかったが、そのような状況下において、市連協のつどい大会「チャレンジウォークのこぎり山」や、大佐和地区連協では佐貫小学校児童によるモルックの体験など、自然体験活動をおこなった。									
比較参考値	本市近隣市町の委嘱人数は次の通り。 木更津市105人・君津市103人・袖ヶ浦市64人・館山市93人・鴨川市62人・南房総市80人・鋸南町20人									
その他特記すべき事項	本市の委嘱人数は第17期（平成22～24年度）66人、第18期（平成25～27年度）65人であったが、地区事業が実施困難であったことから、第19期は66人に戻った経緯がある。しかし、担い手不足等から第21期（令和4～6年度）は61人に減員となった。1校あたりの定数で一律にカットしてしまうと以前と同様の問題が生じるため、検討が必要。									

単年度用

R3決算用

事業番号	60 - 25 - 15 - 1	成果説明書・掲載事業	○		
事業シート（概要説明書）					
科目	款 10 教育費	項 4 社会教育費	目 2 青少年健全育成費		
事業名	青少年健全育成費		担当課 生涯学習課		
総合戦略施策名	基本目標		担当係 社会教育係		
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 伊藤 伸久		
事務区分	自治事務	法定受託事務	事業開始年度 昭和46年度		
根拠法令等	社会教育法第5条第13・14号、千葉県青少年健全育成条例				
実施の背景	青少年は大切な未来の担い手であり、その青少年がのびのびと育つ環境を整備することは大人の責務である。そのため、家庭・学校・地域が連携して青少年の健全育成を支援する必要がある。あわせて、青少年が有害情報及び有害図書を開覧する機会がないように努める必要がある。				
目的	次世代を担う青少年が自他共にかげがえのない存在であることを認識するとともに、社会の一員であることを自覚し、自ら進んで社会参加できるように、家庭・学校・地域が連携して青少年の健全育成を支援する。また、子ども会等の地域の青少年育成団体の活動を支援し、心身ともに健康で、未来に希望を持った青少年の育成に資する。				
事業概要	対象	20歳未満の市民	対象者数(全住民に対する割合) 5,204 人 (12.6 %)		
	実施方法	直接実施	業務委託	一部委託	指定管理
		委託先・指定管理者			
		直接補助	間接補助	補助先	実施主体
		貸付	貸付先		
その他	その他の内容				
事業内容（金額を含めた予算の執行内容）					
富津市子ども会育成連絡協議会補助金(負担金補助及び交付金)		340,000円	富津市子ども会育成連絡協議会は任意の青少年育成団体であり、各地区にある単位子ども会の連絡組織及び事業主体として機能している。また青少年相談員連絡協議会とは相互に事業協力をしている。 主催事業の参加人数:育成大会394人		
合計		340,000円			
<p>●千葉県青少年健全育成条例に基づく立入調査</p> <p>平成26年度から、千葉県青少年健全育成条例（以下、「県条例」という。）に基づく権限の一部が委譲され、市内の図書販売店、携帯電話等販売店の全店舗において立入調査を実施している。県内で権限の一部が委譲されているのは、本市のほか千葉市・銚子市・大多喜町である。</p> <p>県条例に基づく立入調査は、図書販売店での成人向け書籍の調査、携帯電話等販売店におけるフィルタリングサービス説明調査を7店舗に実施し、適切に営業されていることを確認した。</p>					
関連事業					

単年度用

R3決算用

事業番号	60 - 25 - 15 - 1		成果説明書・掲載事業	○						
事業シート（概要説明書）										
科目	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	2	青少年健全育成費	
事業名	青少年健全育成費				担当課	生涯学習課				
[単位：千円]	令和4年度（予算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）		令和元年度（決算）			
コスト	合計		352		340		325		351	
	（人件費を除く） 事業費	内 訳	負担金補助及び交付金	340		負担金補助及び交付金	340		負担金補助及び交付金	340
			旅費	7		需用費	5		旅費	6
			需用費	5		旅費	1		需用費	5
	人件費	合計		0.17 人		1,311		0.17 人		1,384
		正職員		0.17 人		1,311		0.17 人		1,384
		臨時職員等		人		0		人		0
	総事業費		1,663		1,651		1,591		1,735	
	財源	合計		352		340		325		351
国県支出金										
国県支出金の内容										
地方債										
その他特財										
その他特財の内容										
一般財源		352		340		325		351		
事業実績	活動指標名（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度			
	千葉県青少年健全育成条例に基づく立入調査			店舗	7/7	7/7	25/25			
	立入調査指摘箇所数			箇所	0/0	0/0	0/0			
	市子ども会育成連絡協議会主催事業数			回	2/3	1/3	3/3			
単位当たりコスト		総事業費	／	20歳未満の市民	円	317	292	310		
事業成果	<p>市子ども会育成連絡協議会が実施する、子どもたちが多様な経験を得ることができる事業への参加人数を指標とする。 また、県条例に基づく立入調査については、調査を実施することによって注意喚起となるため、再調査店舗数を指標とする。</p>									
	成果指標名（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度			
	市子ども会育成連絡協議会主催事業参加者数			人	474/300	230/300	331/300			
	立入調査再調査店舗数			店舗	0/0	0/0	0/0			
事業の自己評価		<p>青少年相談員連絡協議会と相互に協力して行事を実施するなど、地域に根ざした青少年健全育成活動をしている市子ども会育成連絡協議会に対して、補助金を交付するほか、職員派遣等の支援をした。 県条例に基づく立入調査は、継続的に実施してきた成果もあり、要改善箇所の指摘及び再調査はなかった。青少年を取り巻く環境の整備のため、引き続き実施していく。</p>								
比較参考値										
その他特記すべき事項										

単年度用

R3決算用

事業番号	60 - 55 - 5 - 1	成果説明書・掲載事業												
事業シート（概要説明書）														
科目	款 10 教育費	項 4 社会教育費	目 6 文化財保護費											
事業名	文化財審議会関係費		担当課 生涯学習課											
総合戦略施策名	基本目標		担当係 文化係											
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 桐村修司											
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="radio"/>	事業開始年度 昭和46年度											
根拠法令等	文化財保護法、千葉県文化財保護条例、富津市文化財の保護に関する条例													
実施の背景	昭和46年4月25日に施行された「富津市文化財の保護に関する条例」によって、市文化財審議会が設置された。それ以降、定員12名以内で組織される委員（現在10名）により、実施している。													
目的	教育委員会の諮問に答え又は意見を具申し、及びこれらに必要な調査研究を行うことで地域の歴史・文化の正しい理解のために欠くことのできない市内に所在する文化財を保護・保存・活用し、後世へと継承させる。													
事業概要	対象	市内に所在する文化財（有形文化財・無形文化財・民俗文化財・記念物・埋蔵文化財）	対象者数(全住民に対する割合) - 人 (- %)											
	実施方法	直接実施 <input type="checkbox"/>	業務委託 <input type="checkbox"/>	一部委託 <input type="checkbox"/>										
		委託先・指定管理者												
		直接補助 <input type="checkbox"/>	間接補助 <input type="checkbox"/>	補助先 <input type="checkbox"/>										
		貸付 <input type="checkbox"/>	貸付先 <input type="checkbox"/>	実施主体 <input type="checkbox"/>										
	その他 <input type="checkbox"/>	その他の内容 <input type="checkbox"/>												
事業内容（金額を含めた予算の執行内容）														
有識者10名による年2回の審議会を実施する。ただし、令和2年度第2回会議は新型コロナウイルス感染防止の影響により、中止とした。														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>文化財審議会委員報酬</td> <td>47,600円</td> <td rowspan="2">市内の文化財を調査・研究し、保護・保存及び活用を図っていくための事項を審議するとともに、重要な文化財として十分な価値が認められるものは、教育委員会の諮問に答え、市指定文化財に指定する。(委員数10人)</td> </tr> <tr> <td>文化財審議会費用弁償(旅費)</td> <td>3,390円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>50,990円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				区分	金額	内容	文化財審議会委員報酬	47,600円	市内の文化財を調査・研究し、保護・保存及び活用を図っていくための事項を審議するとともに、重要な文化財として十分な価値が認められるものは、教育委員会の諮問に答え、市指定文化財に指定する。(委員数10人)	文化財審議会費用弁償(旅費)	3,390円	合計	50,990円	
区分	金額	内容												
文化財審議会委員報酬	47,600円	市内の文化財を調査・研究し、保護・保存及び活用を図っていくための事項を審議するとともに、重要な文化財として十分な価値が認められるものは、教育委員会の諮問に答え、市指定文化財に指定する。(委員数10人)												
文化財審議会費用弁償(旅費)	3,390円													
合計	50,990円													
関連事業														

単年度用

R3決算用

事業番号	60 - 55 - 5 - 1			成果説明書・掲載事業						
事業シート（概要説明書）										
科目	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	6	文化財保護費	
事業名	文化財審議会関係費					担当課	生涯学習課			
[単位：千円]	令和4年度（予算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）		令和元年度（決算）			
コスト	合計	194		51		78		78		
	内訳 (人件費を除く)	報酬	164		48		68		68	
		旅費	30		3		10		10	
	人件費	合計	0.20 人	1,542	0.30 人	2,313	0.30 人	2,235	0.20 人	1,628
		正職員	0.20 人	1,542	0.30 人	2,313	0.30 人	2,235	0.20 人	1,628
		臨時職員等	人	0	人	0	人	0	人	0
総事業費	1,736		2,364		2,313		1,706			
財源	合計	194		51		78		78		
	国県支出金									
		国県支出金の内容								
	地方債									
	その他特財	その他特財の内容								
一般財源	194		51		78		78			
事業実績	活動指標名（実績値/目標値）					単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	
	文化財審議会会議					回	1/2	1/2	2/2	
	文化財調査					回	1/1	1/1	1/1	
	既指定文化財現状調査					回	0/2	0/2	0/2	
単位当たりコスト		総事業費			／					
事業成果	成果目標	市内に所在する重要な文化財を対象に有識者による調査を実施し、市指定文化財へと順次指定していく。文化財の現状を損なうことなく、後世へ継承していくことが絶対目標。								
	成果指標名（実績値/目標値）					単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	
	市指定文化財総件数					件	62	62	60	
事業の自己評価	現状では、文化財の指定候補物件を数年に亘って調査しながら、市の重要文化財に指定している。今後は、指定件数を増やすだけでなく、過去に指定した文化財の現況調査も併せて行いながら、よりよい文化財の保護と活用に努めていかなければならない。また、現審議会委員も高齢化しつつあるため、いかに文化財の専門性のバランスを崩すことなく、学識経験者を確保しながら世代交代させていくかが課題である。									
比較参考値	近隣3市の状況（R2決算額） ・木更津市 年間3回、委員数5人、報償費 72,000円、費用弁償 0円（全て書面開催） ・君津市 年間3回、委員数7人、報償費164,400円、費用弁償15,550円 ・袖ヶ浦市 年間4回、委員数7人、報償費159,000円、費用弁償13,300円、食糧費1,332円									
その他特記すべき事項										

単年度用

R3決算用

事業番号	60 - 55 - 10 - 1	成果説明書・掲載事業	○	
事業シート (概要説明書)				
科目	款 10 教育費	項 4 社会教育費	目 6 文化財保護費	
事業名	文化財保護関係費		担当課 生涯学習課	
総合戦略施策名	基本目標	2. 自分のくらす地域を好きになる	担当係 文化係	
	基本的な施策の方向	①. 地域の魅力をより多くの人に伝える	施策番号 1 作成責任者 桐村修司	
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="radio"/>	事業開始年度	
根拠法令等	文化財保護法、千葉県文化財保護条例、富津市文化財の保護に関する条例、富津市指定文化財保存整備事業補助金交付規則			
実施の背景	郷土に残された貴重な文化遺産は、先人たちより大切に守り伝えられてきた貴重な歴史遺産であり、市民にとってのかけがえのない共有財産である。これらは地域の歴史や文化の正しい理解のためには欠くことのできないものであることから、適切な保護・管理・活用を行いながら次世代へと確実に継承していく必要がある。			
目的	市内に所在する貴重な文化財を適切に保護・管理し、後世へと確実に守り伝えていく。また、市民等に文化財を公開・活用することにより、地域の歴史・文化等に対する認識と理解を深めてもらう。			
事業概要	対象	市民をはじめ、県内外から訪れる文化財見学者	対象者数(全住民に対する割合) - 人 (- %)	
	実施方法	直接実施 <input type="radio"/>	業務委託 <input type="radio"/>	一部委託 <input type="radio"/>
		指定管理 <input type="radio"/>		
		委託先・指定管理者 一般社団法人富津市シルバー人材センター		
		直接補助 <input type="radio"/>	間接補助 <input type="radio"/>	補助先 指定文化財所有者
		貸付 <input type="radio"/>	貸付先	実施主体
	その他 <input type="radio"/>	その他の内容	指定文化財の所有者・管理者等	
	事業内容 (金額を含めた予算の執行内容)			
		内訳	金額	備考
	●	裾山日本遺産候補地域活用推進協議会関係	26,125,000円	
協議会負担金(負担金補助及び交付金)		26,125,000円	活用推進協議会の事業運営に伴う負担金	
●文化財史跡用地取得関係		9,558,700円		
土地購入費(公有財産購入費)		9,153,900円	内裏塚古墳土地購入費(対象地2筆)	
手数料(役務費)		404,800円	不動産鑑定料	
●千種新田収蔵庫関係費		9,625,000円		
解体工事費(工事請負費)		9,625,000円	千種新田文化財収蔵庫解体工事費	
●文化財保護関係		1,114,506円		
保存整備事業補助金(負担金補助及び交付金)		1,000,000円	三柱神社本殿(県指定文化財)修復に伴う補助金	
修繕料(需用費)		49,500円	文化財保護のために必要な経費	
消耗品費(需用費)		48,992円		
普通旅費(旅費)		6,260円		
印刷製本費(需用費)		9,754円		
●古墳の里ふれあい館関係費		610,879円		
清掃業務委託料(委託料)		474,700円	一日おきに実施する館内の清掃業務委託費	
上下水道料(需用費)		97,944円	館の維持に係る光熱水費	
電気料(需用費)		34,634円		
保険料(役務費)		3,601円	建物共済保険料	
●文化財・文化財施設環境整備事業		1,625,800円		
草刈り・伐採業務委託料(委託料)		1,625,800円	市が所有する古墳等の草刈及び樹木の伐採業務	
●指定文化財管理報償費	117,000円			
除草作業(報償費)	78,500円	個人が管理・所有する史跡・天然記念物等の環境整備費(県指定文化財5件・市指定文化財12件)		
用具の手入れ・維持管理(報償費)	38,500円	無形民俗文化財の維持管理費(県指定文化財1件・市指定文化財2件)		
●文化財周知板設置事業	88,000円			
文化財周知板設置委託料(委託料)	88,000円	新指定文化財に対する新規設置(市内2箇所・醫光寺薬師如来坐像・正覚院薬師如来坐像)		
	合計	48,864,885円		
関連事業				

単年度用

R3決算用

事業番号	60 - 55 - 10 - 1		成果説明書・掲載事業	○						
事業シート（概要説明書）										
科目	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	6	文化財保護費	
事業名	文化財保護関係費			担当課	生涯学習課					
[単位：千円]	令和4年度（予算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）		令和元年度（決算）			
コスト	合計		25,303	48,865	5,073	10,095				
	（人件費を除く） 事業費 内訳	負担金補助及び交付金	23,551	27,125	委託料	3,665	委託料	4,425		
		委託料	1,300	9,625	負担金補助及び交付金	1,004	公有財産購入費	3,822		
		需用費	249	9,154	需用費	191	負担金補助及び交付金	1,004		
		報償費	156	2,189	報償費	133	役務費	377		
		その他	47	772	その他	80	その他	467		
	合計		2.00 人	12,521	2.30 人	14,834	1.80 人	13,407	1.60 人	13,027
	人件費	正職員	1.50 人	11,563	1.80 人	13,876	1.80 人	13,407	1.60 人	13,027
		臨時職員等	0.50 人	958	0.50 人	958	0.00 人	0	0.00 人	0
	総事業費		37,824		63,699		18,480		23,122	
財源	合計		25,303	48,865	5,073	10,095				
	国県支出金		10	8,347	53	3,681				
		国県支出金の内容	史跡等購入費補助金[国4/5以内 県1/15以内] 文化芸術振興費補助金[国全額] 文化資源活用事業費補助金[国2/3以内] 権限移譲事務交付金[県]							
	地方債									
	その他特財		11,395	9,600	2,473					
その他特財の内容		公共施設等マネジメント基金繰入金, 雑入								
一般財源	13,898		30,918		2,547		6,414			
事業実績	活動指標名（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度			
	文化財周知板の設置			件	2/2	2/2	2/2			
	清掃・除草を実施した史跡・天然記念物件数等			件	20/20	19/20	19/20			
	土地の買上げ			件	2/2	—	2/2			
単位当たりコスト		総事業費 /								
事業成果	成果目標 指定文化財の草刈や樹木の伐採・清掃等による日常的な維持管理、文化財周知板の設置、史跡の公有化を行いながら保護・保存に努めるとともに、見学者等に対して文化財の魅力を表出させる。									
	成果指標名（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度			
	文化財来訪者数（市案内分）			人	350	150	367			
事業の自己評価		文化財来訪者数は、担当課が案内等を行った数であるが、令和2年度と比べると来訪者はだいぶ回復した。今後も、安全かつ快適に見学してもらうための環境整備を地権者等の協力を得ながら進めていく必要がある。また、史跡を保護し、後世へと確実に伝えるためには、史跡の公有化は有効な手段であるが、現状は地権者側からの買上げ要求に応じて実施する事業であるため、継続的な計画が立てにくい状況である。								
比較参考値		近隣3市の状況（R2決算額） ●文化財・文化財施設環境整備事業 木更津市（371,800円）君津市（29,730円）袖ヶ浦市（3,520,000円） ●指定文化財報償費 木更津市（120,000円）君津市（290,055円）袖ヶ浦市（594,000円） ●文化財周知板設置事業 木更津市（0円）君津市（136,400円）袖ヶ浦市（803,000円） ●史跡購入事業 木更津市（0円）君津市（0円）袖ヶ浦市（23,163,000円）								
その他特記すべき事項		鋸南町とともに設立した鋸山日本遺産「候補地域」活用推進協議会に対し、国から補助金が交付され、補助金確定後、当初の負担割合に応じた額が協議会から返還される（R3は22,413,732円の返還があり、市の実質負担額は3,711,268円であった。）。								

単年度用

R3決算用

事業番号	60 - 55 - 15 - 1	成果説明書・掲載事業									
事業シート（概要説明書）											
科目	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	6	文化財保護費		
事業名	市内遺跡発掘調査事業					担当課	生涯学習課				
総合戦略施策名	基本目標					担当係	文化係				
	基本的な施策の方向				施策番号	作成責任者 桐村修司					
事務区分	自治事務	<input type="radio"/>	法定受託事務			事業開始年度	平成元年度				
根拠法令等	文化財保護法、千葉県文化財保護条例、富津市文化財の保護に関する条例										
実施の背景	市内に所在する埋蔵文化財包蔵地内で、個人住宅等の営利を目的としない開発を計画した事業者に対し、発掘調査費用は原因者が負担するという基本的な考え方から事業者の負担を回避させるため、国が推し進める「市内遺跡発掘調査事業」により、国・県補助事業として発掘調査を実施するもの。										
目的	市内に所在する埋蔵文化財包蔵地内において個人住宅等の開発が計画された場合、遺跡を保護するため、事前に発掘調査を実施し、遺跡の性格や規模を記録する。 調査した遺跡は、発掘調査報告書を作成することにより記録・保存し、後世に継承する。										
事業概要	対象	市内に所在する埋蔵文化財					対象者数(全住民に対する割合)				
							- 人 (- %)				
	実施方法	直接実施	<input type="radio"/>	業務委託		一部委託		指定管理			
		委託先・指定管理者									
		直接補助		間接補助		補助先		実施主体			
		貸付		貸付先							
		その他		その他の内容							
	事業内容（金額を含めた予算の執行内容）										
		説明名称	節名称	佐貫城跡	亀塚遺跡	川島遺跡	佐貫城跡2	亀塚遺跡2	整理作業	試掘調査	合計(円)
		重機借上料	使用料及び賃借料	191,348	177,100	207,172	149,600	176,000	0	191,400	1,092,620
	印刷製本費	需用費	3,862	1,931	1,931	1,931	1,931	0	0	11,586	
	測量業務委託料	委託料	0	0	349,800	0	0	0	0	349,800	
	消耗品費	需用費	16,324	14,547	14,544	14,544	13,915	0	0	73,874	
	事務機器借上料	使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	22,704	0	22,704	
	仮設トイレ借上料	使用料及び賃借料	21,340	0	21,340	21,340	21,340	0	0	85,360	
	手数料	役務費	3,960	0	3,960	3,960	3,960	0	0	15,840	
	合計		236,834	193,578	598,747	191,375	217,146	22,704	191,400	1,651,784	
	《発掘調査の状況》										
	遺跡名称	対象地	発掘面積	調査期間	検出遺構			出土遺物			
	佐貫城跡	佐貫地先	37㎡ / 40.4㎡	R3. 4. 22~5. 7	溝1条、柱穴7基、土坑1基（近世以前）			弥生土器、中・近世陶磁器、瓦、宝篋印塔			
	亀塚遺跡	青木地先	142㎡ / 1,549㎡	R3. 5. 24~6. 11	溝4条、土坑2基（奈良・平安時代）			奈良・平安時代土師器、須恵器			
	川島遺跡5	岩瀬地先	25㎡ / 495.24㎡	R3. 6. 22~6. 28	なし			近世陶磁器、瓦			
	佐貫城跡2	佐貫地先	39㎡ / 373.54㎡	R3. 8. 23~9. 2	木柵列2条、土坑3基（近世）			近世陶磁器、瓦、木製品			
	亀塚遺跡2	青木地先	110㎡ / 1,090.53㎡	R4. 3. 1~3. 9	なし			近世陶磁器			
関連事業											

単年度用

R3決算用

事業番号	60 - 55 - 15 - 1		成果説明書・掲載事業							
事業シート（概要説明書）										
科目	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	6	文化財保護費	
事業名	市内遺跡発掘調査事業					担当課	生涯学習課			
[単位：千円]	令和4年度（予算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）		令和元年度（決算）			
コスト	合計		1,584		1,652		1,188		2,161	
	（事業費を除く） 内訳	使用料及び賃借料	610		使用料及び賃借料	1,201		需用費	488	
		委託料	594		委託料	350		使用料及び賃借料	399	
		需用費	372		需用費	85		委託料	297	
		役務費	8		役務費	16		需用費	4	
									需用費	61
									役務費	20
	人件費	合計		0.62 人		2,926		0.82 人		4,467
		正職員	0.30 人		2,313		0.50 人		3,854	
		臨時職員等	0.32 人		613		0.32 人		613	
総事業費		4,510		6,119		8,210		6,232		
財源	合計		1,584		1,652		1,188		2,161	
	国県支出金	868		863		125		1,200		
		国県支出金の内容		市内発掘調査事業補助金[国1/2以内 県1/10以内]						
	地方債									
	その他特財									
その他特財の内容										
一般財源		716		789		1,063		961		
事業実績	活動指標名（実績値/目標値）				単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度		
	発掘調査件数				件	5/2	2/2	6/2		
	単位当たりコスト				総事業費 / 発掘調査件数	円	1,223,800	4,104,000	1,038,666	
事業成果	成果目標				文化財保護法第93条の届出により「要発掘調査」と判断された場合、教育委員会の直営事業によって事前に発掘調査を実施し、地下に埋蔵される遺跡の性格や規模等を確認する。 発掘調査報告書（300部）の刊行部数は、国及び県によって規定されており、消滅した遺跡の概要を後世に残すため、各市教育委員会や関連機関に報告書を送付し保管する。					
	成果指標名（実績値/目標値）				単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度		
	発掘調査報告書刊行部数 （※発掘調査費負担が多く翌年度分に合冊し報告）				部	0(※)/300	300/300	0(※)/300		
事業の自己評価				本事業は「文化財保護法」に基づくものであり、消滅する遺跡に対する調査とその成果の公開・保管は必ず行わなければならない。このため、確認調査の実施、発掘調査報告書の刊行を確実にし、成果を残している。 個人住宅等を含め、開発に伴う埋蔵文化財の有無の照会件数のうち、令和3年度は342件のうち90件が遺跡の該当有りとなっている。						
比較参考値				近隣3市の状況（R2決算額） ・木更津市 6,558,000円（調査件数20件） ・君津市 2,106,712円（調査件数3件） ・袖ヶ浦市 4,087,006円（調査件数3件） 【補助率 補助対象経費の50%（国）、10%（県）、40%（市）】						
その他特記すべき事項										

単年度用

R3決算用

事業番号	60 - 55 - 20 - 1	成果説明書・掲載事業	<input type="radio"/>	
事業シート（概要説明書）				
科目	款 10 教育費	項 4 社会教育費	目 6 文化財保護費	
事業名	高宕山のサル被害防止事業		担当課 生涯学習課	
総合戦略施策名	基本目標		担当係 文化係	
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 桐村修司	
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="radio"/>	事業開始年度 昭和55年度	
根拠法令等	文化財保護法、千葉県文化財保護条例、富津市文化財の保護に関する条例			
実施の背景	昭和31年に富津市地域が、同33年君津市地域がニホンザルの生息地として国の天然記念物に指定されたが、昭和45年頃からサルによる農作物等への被害が発生するようになる。この事態の解決のため、昭和55年度より国・県の指導により被害防止事業を実施。以降、富津・君津両市はこの事業の成果を踏まえ、天然記念物『高宕山のサル生息地』のサルによる被害防止管理事業調査団に委託して事業を継続、今に至る。			
目的	天然記念物「高宕山のサル生息地」のニホンザルを管理するとともに、サルによる農作物等への被害を防止し、地域住民の生活と野生生物との調和のとれた共存の実現に資する。			
対象	宇藤原・高溝・豊岡地区住民 (天然記念物指定地域・要現状変更範囲)		対象者数(全住民に対する割合)	
			535 人 (1.3 %)	
実施方法	直接実施 <input type="checkbox"/>	業務委託 <input type="radio"/>	一部委託 <input type="checkbox"/>	指定管理 <input type="checkbox"/>
	委託先・指定管理者 天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業調査団			
	直接補助 <input type="checkbox"/>	間接補助 <input type="checkbox"/>	補助先 <input type="checkbox"/>	実施主体 <input type="checkbox"/>
	貸付 <input type="checkbox"/>	貸付先 <input type="checkbox"/>		
	その他 <input type="checkbox"/>	その他の内容 <input type="checkbox"/>		
事業内容（金額を含めた予算の執行内容）				
事業概要	●天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業委託料（委託料） 2,460,000円			
	事業	金額	内容	
	被害防止事業	2,460,000円	既存電気柵の維持管理と改修・被害多発期の追い払い・被害実態調査	
	生態調査と個体数管理		電波発信機の装着・生態調査・個体数管理	
天然記念物指定地域の環境改変と生息環境調査	宇藤原地区における測定器を用いた気温や降水量の測定			
関連事業				

単年度用

R3決算用

事業番号	60 - 55 - 20 - 1		成果説明書・掲載事業	○						
事業シート（概要説明書）										
科目	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	6	文化財保護費	
事業名	高宕山のサル被害防止事業				担当課	生涯学習課				
[単位：千円]	令和4年度（予算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）		令和元年度（決算）			
コスト	合計 (人件費を除く)	2,460		2,460		2,460		2,460		
		委託料	2,460	委託料	2,460	委託料	2,460	委託料	2,460	
	人件費	合計	0.30人	2,313	0.20人	1,542	0.40人	2,979	0.40人	3,257
		正職員	0.30人	2,313	0.20人	1,542	0.40人	2,979	0.40人	3,257
		臨時職員等	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	0
	総事業費	4,773		4,002		5,439		5,717		
財源	合計	2,460		2,460		2,460		2,460		
	国県支出金									
	国県支出金の内容									
	地方債									
	その他特財									
その他特財の内容										
一般財源	2,460		2,460		2,460		2,460			
事業実績	活動指標名（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度			
	天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理委員会会議、及び事務局会議				4/6	6/8	6/8			
	電気柵の改修				180/180	305/150	150/150			
	電波発信機の装着				1/2	0/2	1/2			
単位当たりコスト	総事業費 /									
事業成果	成果目標	対象地域での電気柵の新設・改修、ロケット花火等を使用したサルの群れの追い払いを通して農作物被害の減少化を図る。また、天然記念物指定地域とその周辺に生息するサルの詳細なデータを把握し、地域住民が暮らしやすい生活環境を整える。								
	成果	成果指標名（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度		
		農作物の被害率			%	60	54	55		
事業の自己評価	指定地域周辺におけるサルの行動範囲等を調査するため、群れ毎にテレメーターを装着しながらデータの収集に努めてはいるが、まだまだ完全であるとはいえない。今後は、より広範囲でのサルの群れの詳細な調査を行い、千葉県自然保護課の「特定鳥獣保護計画」も考慮しながら、文化財として保護すべきサルの群れの選定や、群れ毎の個体数調整を行っていく体制づくりを目指す。									
比較参考値	・大阪府箕面市 ①天然記念物管理事業②天然記念物管理事業（臨時）③天然記念物食害対策事業（国補助事業） （R2決算額）① 2,106千円（市単費） ② 2,149千円（市単費） ③ 9,047千円（国費6,031千円、市費3,036千円）									
その他特記すべき事項										

単年度用

R3決算用

事業番号	60 - 65 - 5 - 1	成果説明書・掲載事業	○						
事業シート（概要説明書）									
科目	款 10 教育費	項 4 社会教育費	目 5 図書館費						
事業名	図書館関係費		担当課 生涯学習課						
総合戦略施策名	基本目標		担当係 社会教育係						
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 伊藤伸久						
事務区分	自治事務	法定受託事務	事業開始年度 昭和47年度						
根拠法令等	社会教育法第5条第4号、図書館法第3条								
実施の背景	図書館法上の図書館を設置していないが、公民館（富津公民館、中央公民館、市民会館）の図書室及び移動図書館によって、市民へ読書の機会を提供している。また、千葉県公共図書館協会には移動図書館（昭和56年度から運行開始）のみ加盟し、相互協力による貸出の窓口となっている（平成21年度から現行車両）。								
目的	図書館機能を充実させることで、市民により良い読書環境と情報を提供し、読書活動を推進する。 移動図書館を巡回させることにより、各公民館・市民会館まで足を運ぶことが困難な市民への読書機会の提供と利便性の向上を図る。								
事業概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 41,248 人 (100.0 %)						
	実施方法	直接実施	○	業務委託		一部委託		指定管理	
		委託先・指定管理者							
		直接補助		間接補助		補助先		実施主体	
		貸付		貸付先					
その他		その他の内容							
事業内容（金額を含めた予算の執行内容）									
事業概要	内訳		金額	備考					
	図書管理システム借上料(使用料及び賃借料)		3,971,880円	図書管理と施設間ネットワークシステムのリース料					
	図書備品(備品購入費)		2,646,291円	公民館・市民会館図書室、移動図書館の図書、ICタグ。購入図書冊数 1,335冊。					
	移動図書館管理運行业務委託(委託料)		1,716,000円	移動図書館の運行及び管理を委託するための経費。16のステーションをほぼ隔週で(年間28回ずつ)巡回する。					
	消耗品費(需用費)		113,506円	図書発注用資料、図書補修用消耗品等					
	燃料費(需用費)		110,340円	移動図書館の運行に必要な軽油の経費					
	修繕料(需用費)		78,100円	移動図書館の修繕の経費					
	普通旅費(旅費)		7,140円	会議等出席旅費					
	県公共図書館協会負担金(負担金補助及び交付金)		4,700円	県公共図書館協会への負担金支払					
	合計		8,647,957円						
図書の利用状況 (R3年度)									
区分	登録者数(人)		貸出状況		蔵書数(冊)			総数	
	新規	総数	利用者数(人)	貸出数(冊)	購入数	寄贈	除籍		
移動図書館	233	1,687	4,964	10,158	419	20	0	24,124	
富津公民館	130	266	2,079	6,859	306		0	15,723	
中央公民館	45	631	1,289	4,580	318		0	14,352	
市民会館	57	146	908	3,055	292		0	11,703	
合計	465	2,730	9,240	24,652	1,335			65,902	
人口1人あたり 貸出冊数 0.60冊 蔵書冊数 1.60冊 (R4.4.1常住人口: 41,248人)									
関連事業									

単年度用

R3決算用

事業番号	60 - 65 - 5 - 1			成果説明書・掲載事業	○						
事業シート（概要説明書）											
科目	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	5	図書館費		
事業名	図書館関係費				担当課	生涯学習課					
[単位：千円]	令和4年度（予算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）		令和元年度（決算）				
コスト	合計	9,123		8,648		8,668		6,392			
	（人件費を除く） 内 訳	使用料及び賃借料	4,500		3,972		3,972		備品購入費 2,576		
		備品購入費	2,541		2,646		2,578		委託料 2,080		
		委託料	1,716		1,716		1,716		賃金 866		
		需用費	251		302		323		使用料及び賃借料 662		
		その他	115		12		79		その他 208		
	合計	1.13 人	8,711		1.13 人	8,711		1.13 人	8,417		
	人件費	正職員	1.13 人	8,711		1.13 人	8,711		1.13 人	9,200	
		臨時職員等	人	0		人	0		0.40 人	1,024	
	総事業費	17,834		17,359		17,085		16,616			
財源	合計	9,123		8,648		8,668		6,392			
	国県支出金										
	国県支出金の内容										
	地方債										
	その他特財	1		20		15					
その他特財の内容			図書整備費寄附金								
一般財源	9,122		8,628		8,653		6,392				
事業実績	活動実績	活動指標名（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度			
	購入冊数				冊	1,335	1454	1586			
	単位当たりコスト	総事業費	／	購入冊数	円	13,003	11,750	11,227			
事業成果	成果目標	図書（館）活動の成果を示す標準的な指標は、貸出の利用者数と冊数である。全国的に減少傾向が続く中、前年度並みを目標値とする。また、図書館（本館）の無い当市において、図書館機能を充実させるために重要なのは、施設間のネットワークである。利用者は、借りたい本がその施設に無い場合リクエストをすることができ、購入または県内公立図書館の協力で入手し、貸出すことができる。その件数が図書館機能の一端を表していると言えるため、一定数の維持を目標とする。									
	成果	成果指標名（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度			
		貸出利用者数 （公民館、市民会館、移動図書館の合計）				人	9,240/11,000	4,967/11,000	6,992/11,000		
		貸出冊数 （公民館、市民会館、移動図書館の合計）				冊	24,652/31,000	15,216/31,000	21,253/31,000		
リクエスト（予約）数				冊	925/1,000	577/1,000	900/1,000				
事業の自己評価	令和元年度から2年度にかけては、災害による移動図書館の運休や感染症対策による休館等が相次ぎ、利用実績は大幅減となったが、令和3年度は感染対策をしつつサービスを行ない、利用実績も増加に転じた。										
比較参考値	「千葉県図書館2021」（千葉県公共図書館協会）で示された県内平均値（令和2年度）から導き出される当市の人口規模に対する図書施設の「基準値」<現状値> [基準値に対する割合] は、【床面積】<1,042㎡><227㎡> [21.8%]、【職員数】<12.96人><1.87人> [14.4%]、【蔵書冊数】<130,344冊><65,902冊> [50.6%] と、施設規模に比べて蔵書冊数（古い本）が依然多く、図書に携わる人工が不足している。 県内で移動図書館を運行しているのは13市町。君津市では31ステーションを、館山市では30ステーションを、それぞれ隔週で巡回している（ほぼ毎日運行）。										
その他特記すべき事項	図書システムの導入で図書施設のネットワークが整備され、令和2年2月から供用開始となった。利用者は手持ちの端末からも蔵書検索・予約が可能になり、また、市に所蔵のない図書のリクエストも市のホームページからできるようになり、利便性は格段に向上した。感染症拡大による閉館等で断続的なスタートとなったが、すでに事務補助員の労力が割いており、今後web予約等が活発になることが予想されることから、対応するためには図書関係職員の増強が必須である。										

単年度用

R3決算用

事業番号	62 - 15 - 5 - 1	成果説明書・掲載事業		
事業シート（概要説明書）				
科目	款 10 教育費	項 5 保健体育費	目 1 保健体育総務費	
事業名	社会体育振興費		担当課 生涯学習課	
総合戦略施策名	基本目標		担当係 スポーツ振興係	
	基本的な施策の方向		作成責任者 成田 政勝	
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="radio"/>	事業開始年度 昭和32年度	
根拠法令等	スポーツ基本法、富津市スポーツ推進委員に関する規則、富津市教育振興事業補助金交付要綱			
実施の背景	スポーツ基本法の基本理念にのっとり、スポーツに関する施策に関し、施策を策定、実施する。			
目的	スポーツ推進委員を委嘱し、事業の実施に係る連絡調整並びに住民に対するスポーツの実技の指導や助言を行う。また、各種大会や教室の開催や支援、体育団体への補助を行い、市民の体力、競技力の向上及び地域における人々の交流を促進するとともに、青少年の健全育成を推進する。			
対象	市民		対象者数(全住民に対する割合)	
			41,248 人 (100.0 %)	
実施方法	直接実施 <input type="checkbox"/>	業務委託 <input type="checkbox"/>	一部委託 <input type="checkbox"/>	指定管理 <input type="checkbox"/>
	委託先・指定管理者			
	直接補助 <input type="radio"/>	間接補助 <input type="checkbox"/>	補助先	ふれあいスポーツフェスタ実行委員会
	貸付 <input type="checkbox"/>	貸付先	実施主体	ふれあいスポーツフェスタ実行委員会
	その他 <input type="checkbox"/>	その他の内容		
事業内容（金額を含めた予算の執行内容）				
事業概要	スポーツ推進委員報酬	326,400円		
	スポーツ推進委員報償	93,150円	(講師謝礼)	
	スポーツ推進委員報償	52,000円	(スポーツ大会商品)	
	旅費	12,840円	(スポーツ推進委員費用弁償)	
	旅費	3,960円	(職員旅費)	
	需用費	88,186円	(スポーツ大会用消耗品)	
	役務費	30,136円	(通信運搬費)	
	役務費	158,400円	(保険料)	
	負担金補助及び交付金	3,000円	(君津地区スポーツ推進委員連絡協議会負担金)	
	負担金補助及び交付金	1,250,000円	(富津市スポーツ協会補助金)	
負担金補助及び交付金	390,000円	(木更津総合高校選抜野球大会補助金)		
合計	2,408,072円			
関連事業				

単年度用

R3決算用

事業番号	62 - 15 - 5 - 1		成果説明書・掲載事業							
事業シート（概要説明書）										
科目	款	10	教育費	項	5	保健体育費	目	1	保健体育総務費	
事業名	社会体育振興費					担当課	生涯学習課			
[単位：千円]	令和4年度（予算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）		令和元年度（決算）			
コスト	合計		3,797		2,408		1,529		3,658	
	（人件費を除く） 事業費	内 訳	負担金補助及び交付金	1,703	負担金補助及び交付金	1,643	負担金補助及び交付金	987	負担金補助及び交付金	1,578
			報酬	932	報酬	326	報酬	306	報酬	1,136
			報償費	718	役務費	189	報償費	90	報償費	630
			役務費	204	報償費	145	役務費	61	役務費	115
			その他	240	その他	105	その他	85	その他	199
	人件費	合計		1.00 人		7,709		1.95 人		15,032
		正職員		1.00 人		7,709		1.95 人		15,032
		臨時職員等		人		0		人		0
	総事業費		11,506		17,440		16,053		19,127	
財源	合計		3,797		2,408		1,529		3,658	
	国県支出金									
	国県支出金の内容									
	地方債									
	その他特財									
その他特財の内容										
一般財源		3,797		2,408		1,529		3,658		
事業実績	活動実績		活動指標名（実績値/目標値）		単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度		
			スポーツ推進委員 会議、行事		回	10	6	27		
			スポーツ大会等参加者		人	2,450	1,683	5,665		
			スポーツ少年団交流事業参加者		人	中止	中止	中止		
単位当たりコスト		総事業費 / スポーツ大会等参加者		円	7,118	9,538	3,376			
事業成果	成果目標		各種大会や教室の開催や支援、体育団体への補助を行い、市民の体力、競技力の向上及び地域における人々の交流を促進するとともに、青少年の健全育成を推進する。							
	成果		成果指標名（実績値/目標値）		単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度		
			スポーツ大会等参加者		人	2,450	1,683	5,665		
事業の自己評価		令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、各種大会等が実施できない状況であった。最近の傾向としては、利用の参加者は大きな変化がない状況であり、少子化や人口の減少により、各種団体の会員数が減少傾向である。人口減の影響がある中で、今後も各種大会や教室の開催への支援を図ることにより、市民の体力、競技力の向上及び地域における人々の交流に繋げていきたい。								
比較参考値		令和3年度 スポーツ推進委員数 富津市 28人、木更津市 28人、君津市 30人、袖ヶ浦市 20人 体育協会補助金 富津市 1,250千円、木更津市 2,082千円、君津市 4,652千円、袖ヶ浦市 3,007千円								
その他特記すべき事項										

単年度用

R3決算用

事業番号	62 - 65 - 10 - 1	成果説明書・掲載事業		
事業シート（概要説明書）				
科目	款 10 教育費	項 5 保健体育費	目 5 スポーツレクリエーション推進費	
事業名	スポーツレクリエーション推進事業		担当課 生涯学習課	
総合戦略施策名	基本目標		担当係 スポーツ振興係	
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 成田 政勝	
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="radio"/>	事業開始年度 平成15年度	
根拠法令等	スポーツ基本法、富津市スポーツ推進員に関する規則			
実施の背景	市民がスポーツ・レクリエーションを通じ、健康・体力づくりを実践することを普及、促進するため、富津市スポーツ・レクリエーション推進員を設置し、市民のスポーツ・レクリエーション活動の充実を図る。			
目的	市民のスポーツ・レクリエーション活動の充実を図るため、ニュースポーツの大会や教室などを開催する。			
事業概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 41,248 人 (100.0 %)	
	実施方法	直接実施 <input type="radio"/>	業務委託 <input type="radio"/>	一部委託 <input type="radio"/>
		委託先・指定管理者 富津市施設利用振興公社・ミズノ 共同体		
		直接補助	間接補助	補助先
		貸付	貸付先	実施主体
その他	その他の内容			
事業内容（金額を含めた予算の執行内容）				
報償費14,450円（スポーツレクリエーション推進員報償費）				
関連事業				

単年度用

R3決算用

事業番号	62 - 65 - 10 - 1		成果説明書・掲載事業								
事業シート（概要説明書）											
科目	款	10	教育費	項	5	保健体育費	目	5	スポーツレクリエーション推進費		
事業名	スポーツレクリエーション推進事業					担当課	生涯学習課				
[単位：千円]	令和4年度（予算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）		令和元年度（決算）				
コスト	合計	369		14		12		206			
	内訳 (人件費を除く)	報償費	354		14		12		報償費	194	
		需用費	10						役務費		11
		役務費	5						需用費		1
	合計	0.70 人	5,396		0.45 人		3,469		0.45 人	3,352	
	人件費	正職員	0.70 人	5,396		0.45 人		3,469		0.45 人	3,352
臨時職員等		人	0		人		0		人	0	
総事業費	5,765		3,483		3,364		3,870				
財源	合計	369		14		12		206			
	国県支出金										
		国県支出金の内容									
	地方債										
	その他特財	100									
	その他特財の内容 千葉県スポーツ振興基金助成金										
一般財源	269		14		12		206				
事業実績	活動指標名（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度				
	スポーツ・レクリエーション推進員会議等			回	0	1	3				
	大会等			回	0	0	1				
	スポーツレクリエーション推進員大会等参加者数			人	0	0	59				
単位当たりコスト	総事業費	／	大会等参加者数		0	0	65				
事業成果	成果目標	大会や教室の開催により健康・体力づくりのためのニュースポーツの普及、レクリエーション活動の促進を図る。									
	成果指標名（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度				
	スポーツ大会等参加者（社会体育振興事業、ふれあいスポーツフェスタ事業を含む。）			人	2,450	1,683	5,665				
事業の自己評価	各行事の内容の充実を図り、参加者の増加を促していきたい。スポーツレクリエーション推進員は定員70人以内となっているが、現在27人と定員の4割しか委嘱されていないため、担い手の掘り起こしが課題である。大会等参加者数はあまり多くないが、ふれあいスポーツフェスタなどその他の行事の運営補助なども積極的に行っている。										
比較参考値	スポーツレクリエーション推進員の状況（R3年度） 人数 富津市 22人、君津市 50人、木更津市・袖ヶ浦市 0人 事業費 富津市 14千円、君津市 145千円										
その他特記すべき事項											

単年度用

R3決算用

事業番号	62 - 85 - 10 - 1	成果説明書・掲載事業	○																																							
事業シート（概要説明書）																																										
科目	款 10 教育費	項 5 保健体育費	目 4 市体育施設費																																							
事業名	市体育施設管理運営事業		担当課 生涯学習課																																							
総合戦略施策名	基本目標	4.市の産業、仕事を創る	担当係 スポーツ振興係																																							
	基本的な施策の方向	③観光の振興	施策番号 2 作成責任者 成田 政勝																																							
事務区分	自治事務 ○	法定受託事務	事業開始年度 昭和46年度																																							
根拠法令等	地方自治法、富津市公の施設に係る指定管理者の指定手続に関する条例、体育施設の設置及び管理に関する条例																																									
実施の背景	社会体育施設を設置以来、直接管理運営を行い、その後、平成元年から浅間山運動公園、平成8年から総合社会体育館を施設利用振興公社に委託していたが、平成17年度指定管理者制度の導入により18年度から指定管理で実施。																																									
目的	体育施設の適切かつ効率的な管理運営を行い、市民の心身の健全な発達と健康増進及びスポーツ意欲の高揚を図り、豊かで潤いのある市民生活の形成に寄与する。 また、体育施設の効用を最大限に発揮し、利用しやすい環境を整備する。																																									
事業概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 41,248 人 (100.0 %)																																							
	実施方法	直接実施	業務委託																																							
		一部委託	指定管理 ○																																							
		委託先・指定管理者	富津市施設利用振興公社・ミズノ 共同体																																							
		直接補助	間接補助	補助先	実施主体																																					
貸付	貸付先																																									
その他	その他の内容																																									
事業内容（金額を含めた予算の執行内容）																																										
役務費	108,767円	（保険料）																																								
委託料	48,961,024円	（指定管理料 富津市施設利用振興公社）																																								
使用料及び賃借料	160,600円	（駐車場整備に伴う重機借上料）																																								
原材料費	67,584円	（駐車場整備に伴う原材料費）																																								
合計	49,297,975円																																									
施設の利用状況																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>利用回数</th> <th>利用人数</th> <th>使用料(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>富津運動広場（野球場）</td> <td>74</td> <td>834</td> <td>102,740</td> </tr> <tr> <td>新富運動広場（サッカー場）</td> <td>188</td> <td>9,122</td> <td>177,950</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">浅間山運動公園</td> <td>テニスコート</td> <td>791</td> <td>4,420</td> </tr> <tr> <td>フットサル</td> <td>22</td> <td>171</td> </tr> <tr> <td>野球場</td> <td>107</td> <td>4,526</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">総合社会体育館</td> <td>主体育館</td> <td>1,104</td> <td>31,214</td> </tr> <tr> <td>小体育館</td> <td>1,711</td> <td>10,041</td> </tr> <tr> <td>会議室等</td> <td>53</td> <td>244</td> </tr> <tr> <td>トレーニングルーム</td> <td>408</td> <td>531</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>4,458</td> <td>61,103</td> <td>8,140,290</td> </tr> </tbody> </table>				施設名	利用回数	利用人数	使用料(円)	富津運動広場（野球場）	74	834	102,740	新富運動広場（サッカー場）	188	9,122	177,950	浅間山運動公園	テニスコート	791	4,420	フットサル	22	171	野球場	107	4,526	総合社会体育館	主体育館	1,104	31,214	小体育館	1,711	10,041	会議室等	53	244	トレーニングルーム	408	531	合計	4,458	61,103	8,140,290
施設名	利用回数	利用人数	使用料(円)																																							
富津運動広場（野球場）	74	834	102,740																																							
新富運動広場（サッカー場）	188	9,122	177,950																																							
浅間山運動公園	テニスコート	791	4,420																																							
	フットサル	22	171																																							
	野球場	107	4,526																																							
総合社会体育館	主体育館	1,104	31,214																																							
	小体育館	1,711	10,041																																							
	会議室等	53	244																																							
	トレーニングルーム	408	531																																							
合計	4,458	61,103	8,140,290																																							
関連事業																																										

単年度用

R3決算用

事業番号	62 - 85 - 10 - 1		成果説明書・掲載事業	○						
事業シート（概要説明書）										
科目	款	10	教育費	項	5	保健体育費	目	4	市体育施設費	
事業名	市体育施設管理運営事業				担当課	生涯学習課				
[単位：千円]	令和4年度（予算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）		令和元年度（決算）			
コスト	合計	51,969		49,298		58,774		124,889		
	（人件費を除く） 内 訳	委託料	49,100		48,961		52,672		74,250	
		需用費	2,758		161		4,987		50,323	
		役務費	111		109		1,005		207	
					67		110		109	
	人件費	合計	0.60 人		0.44 人		0.44 人		0.44 人	
		正職員	0.60 人		0.44 人		0.44 人		0.44 人	
		臨時職員等	人		0		0		0	
	総事業費	56,594		52,690		62,051		128,471		
	財源	合計	51,969		49,298		58,774		124,889	
国県支出金										
		国県支出金の内容								
地方債								68,500		
その他特財		2,701		2		1,501		2		
		その他特財の内容		公共施設等マネジメント基金繰入金、雑入						
一般財源	49,268		49,296		57,273		56,387			
事業実績	活動実績	活動指標名（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度		
		開館日数				日	307	207	278	
		利用者数				人	42,030	36,369	67,571	
	単位当たりコスト	総事業費	／	利用者数		1,254	1,706	1,901		
事業成果	成果目標	公益財団法人富津市施設利用振興公社の指定管理により、体育施設の適切かつ効率的な管理運営を行い、利用者数の増加を図る。								
	成果	成果指標名（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度		
		施設利用者数（人口の2.5倍を目標とする。）				人	61,103/103,120	36,369/105,245	67,571/106,887	
事業の自己評価	新型コロナウイルス感染症の影響はあるが、令和2年度に比べ令和3年度は、利用者数が増加した。 指定管理者と協議し、管理運営方法や、施設の改修、スポーツ大会・教室等の事業の充実を図っていきたい。									
比較参考値										
その他特記すべき事項										